

## 成長の季節

=教室での一コマから=



午後2時を過ぎるとお帰りの時間となり、各教室からピアノの調べにのせて子どもたちの元気な歌声が響いてきます。この頃になると、子どもたちの表情は、家に帰れるという解放感にあふれ、集中力も高まっています。先生の話には目を輝かせて耳を傾け、歌うときは身振り手振りを加え、全員が楽しそうです。

保育の時間の中でも、子どもたちの元気がほとぼしる時間帯です。

この日は、体験保育「たまごクラブ」がはな組の教室を使ったため、ゆき組の教室にはな・ほし・ゆきの全員が集まり「お帰りの時間」を楽しんでいました。

廊下の窓から中をうかがうと、理恵先生が子どもたちに手遊びを披露しています。

全員が理恵先生の動きに注目し、手遊びをまねています。目はキラキラとして手を動かしながら、集中してお話を聴いています。

4月・5月のころは、全員が一つになって何かをやるという場面は期待しづらいものでした。集まると、誰かがふざけたり、よそ見をしたり、おしゃべりをしたりと、集中力に欠ける子が目につきました。

それがどうでしょう、この写真が示すとおり全員の心が理恵先生に向けられています。

子どもたちの着実な成長を感じた一瞬でした。

4月から半年が経ち、このような成果がはっきりとあらわれ、幼児教育の重要性を改めて感じます。

もちろん、新採の理恵先生についても日々の努力があったからこそ、子どもたちの心をこのようにつかんでいるのだと思います。子どもばかりでなく、先生の成長も感じとれる写真です。